

事務事業名	H23年度 除雪用タイヤドーザー8t級(2機) 導入事業	所属部	建設部	所属課	業務管理課
政策名	総合計画体系 (II)環境に配慮した安全・快適な生活環境づくり《定住環境》	所属G	維持管理G	課長名	日野 誠
施策名	(07)道路網の整備	担当者名	昌子 真二	電話番号(内線)	0854-40-1061
基本事業名	(019)道路の補修・維持管理	予算科目	会計 款 項 目 中事業 011 410 110 310 012	3731	除雪機械整備事業

1 現状把握の部

(1)事業概要

①事業期間	②事業の内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(16年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(年度~年度)	機械機種調査、取り扱い業者調査、入札の実施、契約、納入検査、導入完了	・道路管理上の必要性「機械利用による生活道路の除雪作業」 ・ブルドーザー、グレーダー等、除雪可能な機械が作業導入された昭和40年代ころ~

(2)トータルコスト

①事業費の内訳(概要)	単位	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	全体計画
平成23年度 社会資本整備総合交付金事業 除雪用タイヤドーザー(8t級) 2機 17,997千円 率2/3	事業内訳	千円		11,998			
	国庫支出金	千円	38,754				
	県支出金	千円					
	地方債	千円	3,046	5,999			
	その他	千円					
	一般財源	千円					
	事業費計(A)	千円	41,800	0	17,997	0	0
②延べ業務時間の内訳(業務の流れ等)	人件費	人	1	1			
各センター毎の除雪業務従事時間合計	正規職員従事人数	人	1	1			
	延べ業務時間	時間	380	80			
	人件費計(B)	千円	1,449	0	315	0	0
	トータルコスト(A)+(B)	千円	43,249	0	18,312	0	0

(3)事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
	23年度実績(23年度に行った主な活動)	⑤ 活動指標							
	導入機種、管理体制等についてセンター協議、入札の実施、検査、精算、納車	ア 導入台数	機	2		2			
	24年度計画(24年度に計画している主な活動)	イ タイヤドーザー(8t級)							
	ウ 入札参加業者		1		0				
	エ 入札参加業者		1		0				
	オ 導入後の有効活用	イ ローター除雪機(1.5m級)							
		ウ ローター除雪機(1.0m級)							
		エ 歩行用除雪機4台		4		0			

目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
	雲南市道の除雪を目的とする除雪機	⑥ 対象指標							
		ア 新規導入台数	機	8		2		2	
	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	⑦ 成果指標							
	対象を雲南市所有物とし、除雪に活用する。	ア 除雪機増加台数(導入分)	機	8		2		2	
		イ							
		ウ							
上位目的	④ 結果(どんな上位目的に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標							
	安全で利便性の高い道路交通網を整備する。	ア 生活道路が安全で便利だと感じる割合	%	58.9	57.1	55.7	59.5	59.7	60
		イ 道路改良延長	m	635,837	642,833	644,180	645,300	656,850	

(4)事務事業の環境変化、住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	② この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
雲南市の豪雪地域である掛合町と吉田町では平成17年度と平成20年度の2度にわたり1m~1.5m規模の豪雪を経験している。こうした際は、大型除雪機の利用が不可欠であるが、台数が不足し、豪雪の都度、県、国への緊急借用申請を行い対処をはかるため、除雪実施が遅れていた。	交付金を活用し、計画的に除雪機の新規導入を図り、豪雪時の除雪体制を確立する。	豪雪他、平常時の除雪作業を含め、迅速な対処を図る除雪体制の強化を求める要望。

事務事業名	H23年度 除雪用タイヤドーザー8t級(2機)導入事業	所属部	建設部	所属課	業務管理課
-------	-----------------------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 ↷ 目的:「豪雪及び通常時の雲南市除雪体制の強化のための除雪機械の新規導入。」は、安全快適な道路の結果に結び付いている。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 ↷ 市道の維持管理及び安全確保は、道路管理者である雲南市の責任であること、機械導入による迅速な現場対応体制の確立が図れることなどから、交付金等を活用した除雪機他の機械導入は妥当。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 ↷ 国の交付金事業を活用し、雲南市実施計画の流れに沿った除雪機械の導入を図るもので対象、意図とも妥当。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷ 交付金配分枠があるため、不足機械の一括導入は困難な状況にある。交付金等を活用した計画的な導入が必要となる。経費負担の面から必要台数の一挙購入は困難。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 ↷ 事業を廃止した場合、①で記述した安全な道路網の確保が困難となる。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷ 統廃合できる該当事業が見当たらない。
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷ 耐用年数5年の機械を20年使用し、更新を行うとの考えで実施計画を立てている。20台を越す大型機械を保有する雲南市は、毎年1台の導入が必要となる。老朽化は、故障が多発し、20年更新期間の更なる延長は困難。また、競争入札を行っているため、これ以上の単価削減も困難。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か?成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷ 機械導入業務は、正規職員以外や委託業務には不適と判断。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷ 雲南市全体の除雪機械更新計画に基づくものであること、また、受益者は、不特定多数の道路利用者であり、公平性の問題はない。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	現在、約20台の市所管除雪機と80台を越す業者借り上げ機械により除雪作業を実施している。 これから業者保有除雪機械の減少が見込まれる中、今後とも交付金等、適切な助成制度を活用した機械購入が求められる。																					
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						
課題 : 業者撤退が進む状況(1枚目(4)-②記載)の中で、除雪機械及び除雪オペレーターの確保が求められる。 解決策 : 業者対応できない不足に対し、直営による対応。解決に向けた予算措置。																						